



今年も五重塔に宝玉を携えた青龍が姿を現した

五重塔に浮かぶ青龍

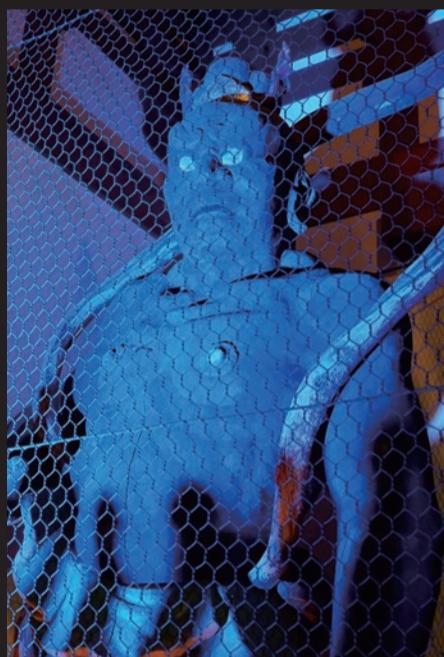
室生寺でライトアップイベント

宇陀市室生にある室生寺はこのほど、紅葉が見ごろになる季節に合わせ境内を赤や青などのライトで照らすイベント「紅葉ライトアップ2025」を実施した。今回のイベントでは、龍をイメージした和傘アートを実施。また「秋の室生寺」をテーマにしたフォトコンテストも開催され、ライトアップされた紅葉だけでなく、国宝の五重塔に浮かび上がった「青龍」など、訪れた人はさまざまな場所にカメラを向けていた。

ライトアップは毎年デザインや、投影する演出を変えて実施。イベントの象徴になっている五重塔を龍が昇るような「宝玉を携えた青龍」だけは、今年も同様の姿を見せた。寺の入口に掛けられた太鼓橋を渡るとすぐにライトアップされた表門が現れ、受け付け所を超えた先にある仁王門では、門の両脇で構える仁王像がそれぞれ赤、青のライトで照られ、さらに存在感の増す演出がされた。



仁王門の仁王像がそれぞれ赤、青のライトで照らされた



な空間を演出。周囲の紅葉や池の上には光の玉も浮かべられ、より一層そのイメージを際立たせた。金堂前や、本堂に通じる階段前では和傘アートを開催。作品名の「飛竜」昇竜」をイメージして配置された光に照らされた和傘が、訪れた人たちの目を引いた。

イベントでの終着点にあたる五重塔では、多くの人が近くへ、また遠くへと撮影スポットを探して歩いている姿が見られた。龍をイメージした和傘アートも開催



龍をイメージした和傘アートも開催

紅葉に合わせ開催

光で幻想的な空間演出

